

小児救急医療体制について

小児の二次救急医療体制等の現状

【休日・全夜間診療事業（小児科）の現状】

○ 指定基準

- ・ 1施設につき小児科医師1名確保、1床又は2床指定（受入件数等の基準はない。）

○ 指定状況

- ・ 東京都全体で、53施設、79床指定（R2.4月現在）
- ・ 小児人口100万対の施設数、病床数について、医療圏毎に違いがある（施設数：21.8～70.1、病床数：31.5～70.1）。（資料2別紙2）

○ 取扱患者数について（資料2別紙3）

- ・ 東京都全体で、約200,000人
- ・ うち、ウォークイン患者は、約170,000人で9割
- ・ 経年では、ウォークイン患者は減少傾向にあるものの、救急車の受入実績は増加傾向
- ・ 施設毎に実績に違いがある。
 - ①取扱患者数：1,000人以下～10,001人以上
 - ③指定病床の利用率：20%以下～200%以上
 - ②救急搬送患者の応需率：50%未満～約100%

○ その他（R1年度調査結果より）

- ・ 休日・全夜間帯に小児救急を行うに当たり、7割の病院が、休日夜間帯に勤務できる医師の確保が難しい状況にあると回答
- ・ 診療の課題としては、①軽症患者が多く忙しい（5割）、②一人当たりの診療に時間がかかる（4割）、③保護者への説明が大変・時間がかかる（3割）が挙げられた。

【外傷救急患者（小児）の現状】

○ 実績

- ・ 平成30年度に、一般通報で救急告示医療機関に搬送された小児救急患者約47,000人のうち、外傷患者は3割の15,500人
- ・ 外傷患者の搬送先として、指定二次救急医療機関（小児）が6割、指定二次救急医療機関（内科外科系）及びその他救急告示医療機関が4割
- ・ 東京ルール事案に該当する救急搬送患者（小児）は、91件あり、そのうち7割の65件が外傷患者
- ・ 小児外傷患者の受入不能の理由について、「高次・専門不能」が最も多い。

○ その他（R1年度調査結果より）

- ・ 休日全夜間帯の外傷系小児患者の受入について

【頭部以外の打撲・捻挫】

- ①常時受入 指定二次（小児）55%、その他救急告示 18%
- ②日による 指定二次（小児）39%、その他救急告示 41%
- ③難しい 指定二次（小児）6%、その他救急告示 41%

【脱臼・骨折】

- ①常時受入 指定二次（小児）56%、その他救急告示 12%
- ②日による 指定二次（小児）36%、その他救急告示 41%
- ③難しい 指定二次（小児）8%、その他救急告示 46%

【頭部外傷】

- ①常時受入 指定二次（小児）58%、その他救急告示 9%
- ②日による 指定二次（小児）36%、その他救急告示 29%
- ③難しい 指定二次（小児）6%、その他救急告示 62%

小児救急医療体制について

小児の初期救急医療体制の現状

【小児初期救急平日夜間診療事業（区市町村補助）の現状】

- 平成14年度から事業を開始
- 補助基準
 - ・ 固定施設（休日夜間急患センターや、病院）で実施
 - ・ 診療時間は、平日午後5時～午前0時までの3時間以上で、毎日又は一週間のうち複数日で実施
 - ・ 職員体制は、小児科医師1名、看護師1名、事務職員1名
 - ・ 委託による実施も可能
- 実施状況
 - ・ 補助対象地域は、53区市町村のうち41区市町村（R2.4月現在）（資料2別紙1）
41区市町村の内訳：22区16市2町1村
 - ・ 実施場所：病院 区部13、多摩地域13
診療所 区部9、多摩地域6
- 取扱患者数について（資料2別紙4）
 - ・ 平成30年度：33,000人程度（年々緩やかに減少傾向）
- その他（R1年度調査結果より）
 - ・ 区市町村によっては、小児科医を必須とせず、小児を診療できる内科医等の配置でも良いのではとの意見あり。
（45回答中、15区市町村）

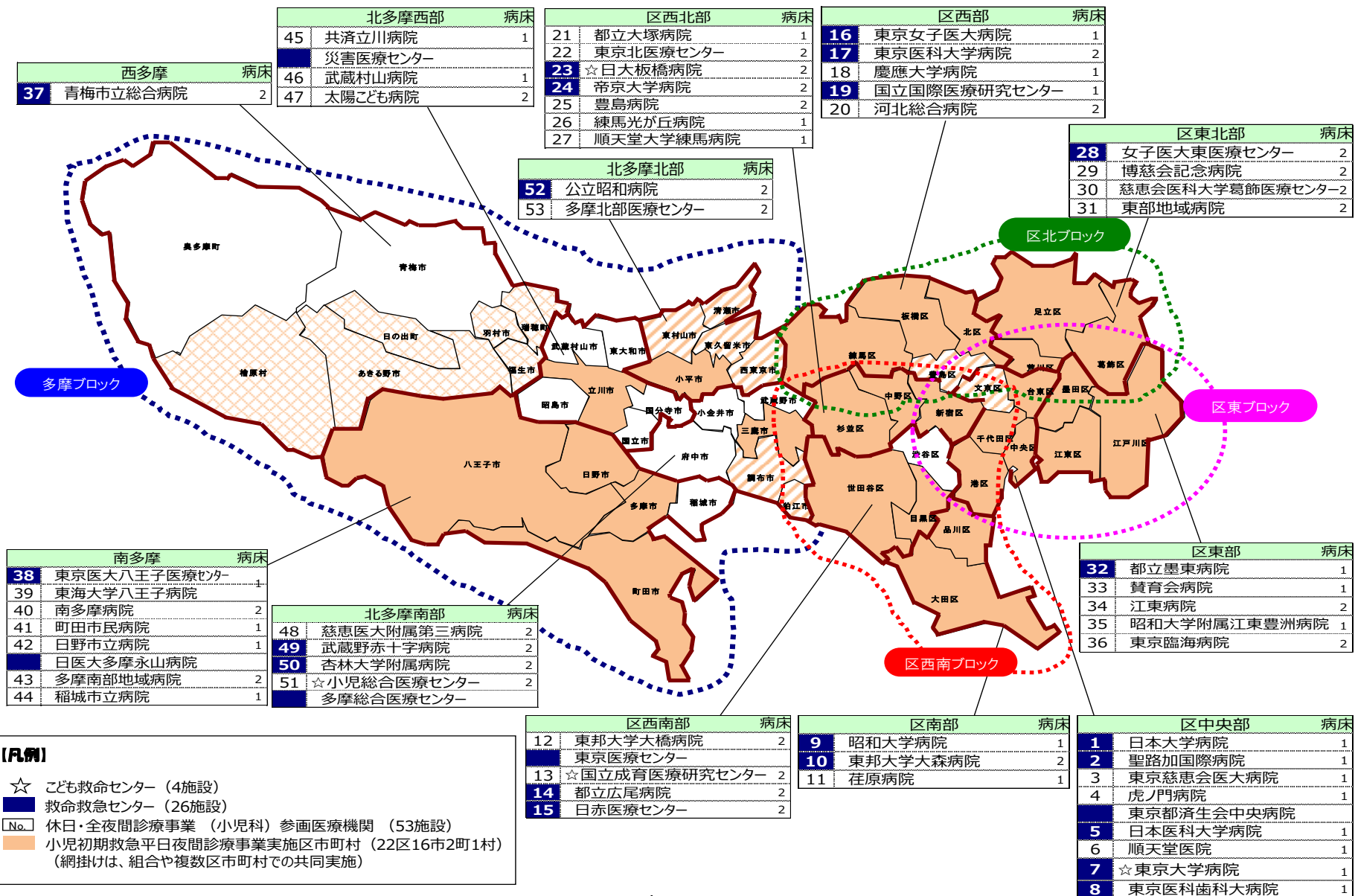
今後の方向性案

より、速やかに適切な医療へつなげる小児救急医療体制の構築に向けて、以下について検討する。

- 休日・全夜間診療事業（小児科）の更なる強化について
（例）
 - ・ 年少人口等に応じた地域ごとの施設数や病床数の設定
 - ・ 救急搬送受入件数等を踏まえた指定基準の設定
 - ・ 小児外傷患者を受け入れる体制の構築
 - ・ 働き方改革を踏まえた効果的な人材の確保策 等
 - 区市町村の実情に応じたより柔軟な初期救急医療体制の構築について
（例）
 - ・ 現行の都の補助基準等の見直し
 - ・ 初期救急における二次救急医療機関等の効果的な活用や、初期及び二次救急医療機関同士の連携について 等
 - 人材の育成・都民への普及啓発の推進について
（例）
 - ・ 働き方改革を踏まえた人材の育成策の検討
 - ・ 効果的な普及啓発の検討 等
- ⇒ 以上について、部会を設置し、検討する。【資料3】

東京都内における小児救急医療体制（初期～3次救急）

（令和2年4月現在）



【凡例】

- ☆ こども救命センター（4施設）
- 救命救急センター（26施設）
- No. 休日・全夜間診療事業（小児科）参画医療機関（53施設）
- 小児初期救急平日夜間診療事業実施区市町村（22区16市2町1村）（網掛けは、組合や複数区市町村での共同実施）

【地域別の小児医療資源の状況】

地域	年少人口	小児科 医師数	小児科 標榜数 (診療所)	小児科 標榜数 (病院)	指定二次 (小児科)				指定二次 (内科外科系)				地域	年少人口	小児科 医師数	小児科 標榜数 (診療所)	小児科 標榜数 (病院)	指定二次 (小児科)				指定二次 (内科外科系)			
					施設数	年少人口 100万人 当たり	病床数	年少人口 100万人 当たり	施設数	年少人口 100万人 当たり	病床数	年少人口 100万人 当たり						施設数	年少人口 100万人 当たり	病床数	年少人口 100万人 当たり	施設数	年少人口 100万人 当たり	病床数	年少人口 100万人 当たり
総数(島しょ除く)	1,600,073	3,662	2,522	186	53	33.1	79	49.4	233	145.6	662	413.7	多摩地域	518,373	936	633	54	17	32.8	26	50.2	65	125.4	179	345.3
区部	1,081,700	2,726	1,889	132	36	33.3	53	49.0	168	155.3	483	446.5	西多摩	43,386	61	57	3	1	23.0	2	46.1	7	161.3	19	437.9
区中央部	114,158	485	196	26	8	70.1	8	70.1	19	166.4	65	569.4	青梅市	14,146	27	24	1	1	/	2	/	2	/	6	/
千代田区	8,882	52	22	5	1	/	1	/	4	/	14	/	福生市	5,941	10	9	1	-	/	-	/	3	/	8	/
中央区	22,912	50	43	3	1	/	1	/	2	/	7	/	羽村市	6,804	5	8	-	-	/	-	/	-	/	-	/
港区	35,740	123	52	8	2	/	2	/	6	/	18	/	あきる野市	9,998	14	10	1	-	/	-	/	1	/	3	/
文京区	28,200	221	47	7	4	/	4	/	5	/	18	/	瑞穂町	3,680	1	3	-	-	/	-	/	-	/	-	/
台東区	18,424	39	32	3	-	/	-	/	2	/	8	/	日の出町	2,341	1	-	-	-	/	-	/	-	/	-	/
区南部	127,070	283	230	11	3	23.6	4	31.5	19	149.5	59	464.3	檜原村	139	2	1	-	-	/	-	/	-	/	-	/
品川区	47,050	108	91	3	1	/	1	/	5	/	19	/	奥多摩町	337	1	2	-	-	/	-	/	1	/	2	/
大田区	80,020	175	139	8	2	/	3	/	14	/	40	/	南多摩	172,144	261	188	12	7	40.7	8	46.5	20	116.2	55	319.5
区西南部	163,969	483	293	16	4	24.4	8	48.8	23	140.3	66	402.5	八王子市	64,972	114	78	3	3	/	3	/	9	/	25	/
目黒区	31,288	70	58	4	1	/	2	/	8	/	21	/	町田市	53,072	53	53	3	1	/	1	/	6	/	15	/
世田谷区	108,662	333	185	9	1	/	2	/	10	/	30	/	日野市	23,458	30	23	2	1	/	1	/	2	/	4	/
渋谷区	24,019	80	50	3	2	/	4	/	5	/	15	/	多摩市	17,258	45	17	3	1	/	2	/	2	/	8	/
区西部	120,979	437	260	16	5	41.3	7	57.9	23	190.1	70	578.6	稲城市	13,384	19	17	1	1	/	1	/	1	/	3	/
新宿区	31,163	245	72	8	4	/	5	/	11	/	36	/	北多摩西部	81,237	134	95	12	3	36.9	4	49.2	10	123.1	29	357.0
中野区	29,658	72	74	3	-	/	-	/	6	/	16	/	立川市	22,154	29	19	3	1	/	1	/	5	/	15	/
杉並区	60,158	120	114	5	1	/	2	/	6	/	18	/	昭島市	14,061	18	11	3	1	/	2	/	3	/	7	/
区西北部	212,905	484	389	28	7	32.9	11	51.7	30	140.9	77	361.7	国分寺市	15,413	18	21	-	-	/	-	/	-	/	-	/
豊島区	26,202	77	66	4	1	/	1	/	6	/	15	/	国立市	8,682	14	19	1	-	/	-	/	-	/	-	/
北区	36,753	98	75	5	1	/	2	/	6	/	14	/	東大和市	10,962	26	13	2	-	/	-	/	1	/	4	/
板橋区	61,950	186	109	13	3	/	6	/	12	/	34	/	武蔵村山市	9,965	29	12	3	1	/	1	/	1	/	3	/
練馬区	88,000	123	139	6	2	/	2	/	6	/	14	/	北多摩南部	129,831	325	179	15	4	30.8	8	61.6	15	115.5	42	323.5
区東北部	157,386	253	255	20	4	25.4	8	50.8	28	177.9	72	457.5	武蔵野市	17,428	49	31	2	1	/	2	/	4	/	9	/
荒川区	24,712	60	38	5	1	/	2	/	5	/	8	/	三鷹市	23,687	59	36	1	1	/	2	/	3	/	10	/
足立区	78,931	109	142	10	1	/	2	/	15	/	40	/	府中市	34,082	155	48	7	1	/	2	/	5	/	15	/
葛飾区	53,743	84	75	5	2	/	4	/	8	/	24	/	調布市	29,740	27	35	3	-	/	-	/	2	/	5	/
区東部	185,233	301	266	15	5	27.0	7	37.8	26	140.4	74	399.5	小金井市	15,011	15	15	1	-	/	-	/	-	/	-	/
墨田区	28,745	71	46	5	2	/	2	/	8	/	24	/	狛江市	9,883	20	14	1	1	/	2	/	1	/	3	/
江東区	66,886	103	87	6	2	/	3	/	10	/	26	/	北多摩北部	91,775	155	114	12	2	21.8	4	43.6	13	141.7	34	370.5
江戸川区	89,602	127	133	4	1	/	2	/	8	/	24	/	小平市	25,505	71	31	3	1	/	2	/	2	/	6	/
													東村山市	18,060	26	20	3	1	/	2	/	3	/	8	/
													清瀬市	8,970	13	11	2	-	/	-	/	2	/	4	/
													東久留米市	14,122	14	16	1	-	/	-	/	2	/	2	/
													西東京市	25,118	31	36	3	-	/	-	/	4	/	14	/

【休日・全夜間診療事業実績】

<小児科>

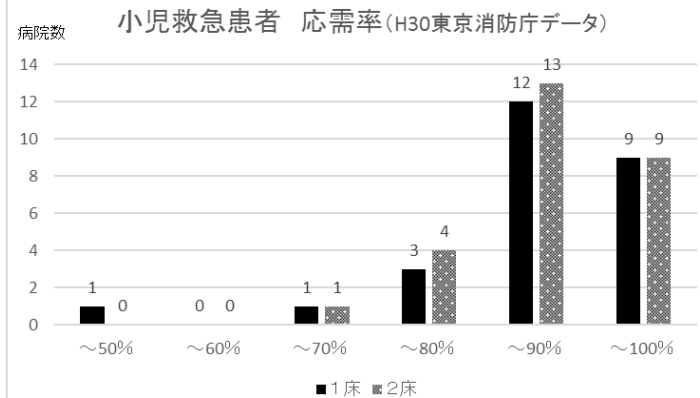
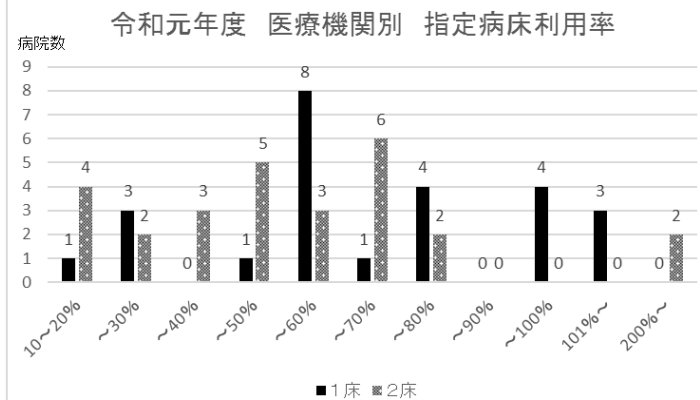
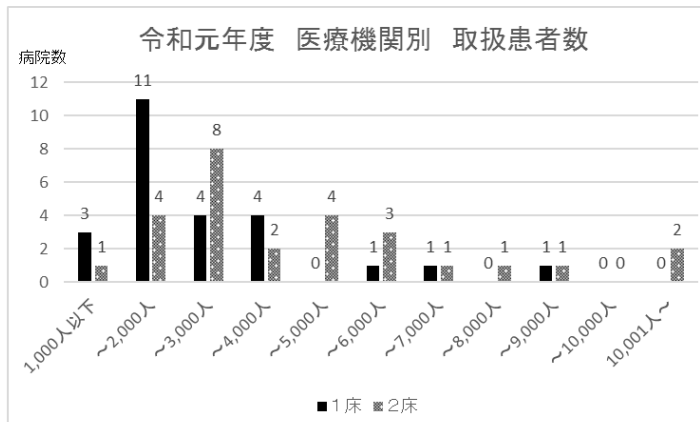
	指定状況		患者数			入院患者数 (総数に対する割合)
	施設数	病床数	総数	救急車 (総数に対する割合)	ウォークイン (総数に対する割合)	
令和元年度 ※速報値	53	79	193,578	25,516 (13%)	168,062 (87%)	17,742 (9%)
平成30年度	53	79	208,975	27,015 (13%)	181,960 (87%)	17,838 (9%)
平成29年度	54	80	219,325	26,421 (12%)	192,904 (88%)	17,930 (8%)
平成28年度	52	80	228,192	26,093 (11%)	202,099 (89%)	17,065 (7%)
平成27年度	51	80	238,728	25,123 (11%)	213,605 (89%)	18,303 (8%)

<内科外科系>

	指定状況		患者数			入院患者数 (総数に対する割合)
	施設数	病床数	総数	救急車 (総数に対する割合)	ウォークイン (総数に対する割合)	
令和元年度 ※速報値	238	675	1,152,665	447,204 (39%)	705,461 (61%)	248,066 (22%)
平成30年度	238	673	1,182,986	446,467 (38%)	736,519 (62%)	247,248 (21%)
平成29年度	240	667	1,189,710	436,173 (37%)	753,537 (63%)	246,209 (21%)
平成28年度	243	675	1,212,073	428,145 (35%)	783,928 (65%)	241,587 (20%)
平成27年度	242	668	1,220,559	414,887 (34%)	805,672 (66%)	234,972 (19%)

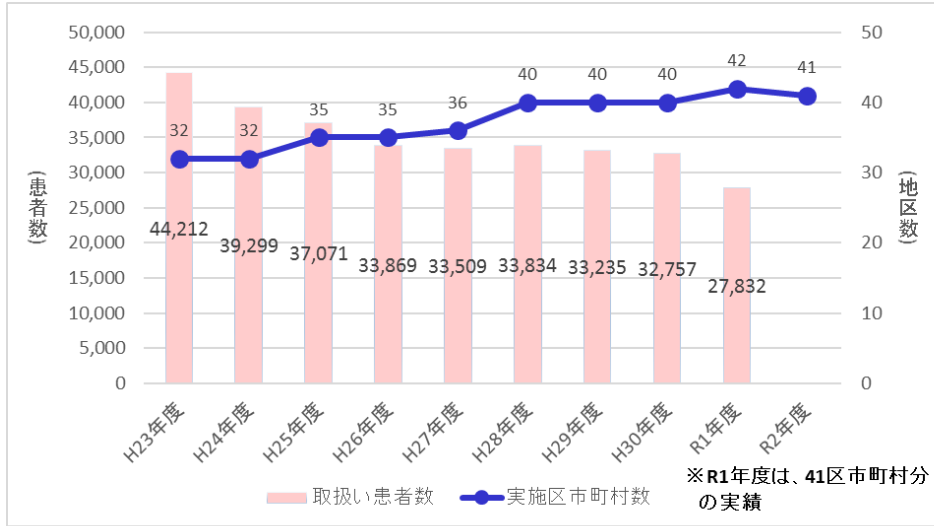
<総数>

	指定状況		患者数			入院患者数 (総数に対する割合)
	施設数	病床数	総数	救急車 (総数に対する割合)	ウォークイン (総数に対する割合)	
令和元年度 ※速報値	241	754	1,346,243	472,720 (35%)	873,523 (65%)	265,808 (20%)
平成30年度	241	752	1,391,961	473,482 (34%)	918,479 (66%)	265,086 (19%)
平成29年度	243	747	1,409,035	462,594 (33%)	946,441 (67%)	264,139 (19%)
平成28年度	246	755	1,440,265	454,238 (32%)	986,027 (68%)	258,652 (18%)
平成27年度	245	748	1,459,287	440,010 (30%)	1,019,277 (70%)	253,275 (17%)



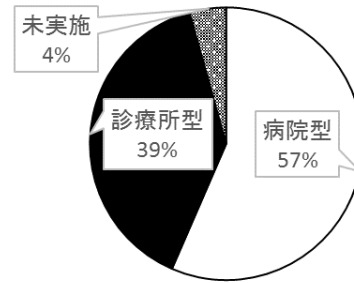
【小児初期救急平日準夜診療事業・実績】

事業開始当時から緩やかに減少し、平成26年度以降33,000件程度

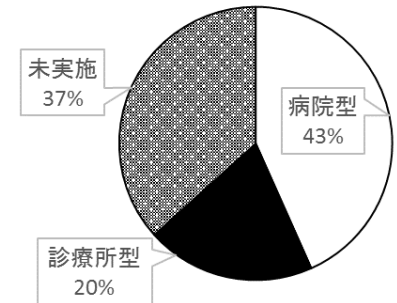


【小児初期救急平日準夜診療事業・実施状況】令和2年度

<区部>



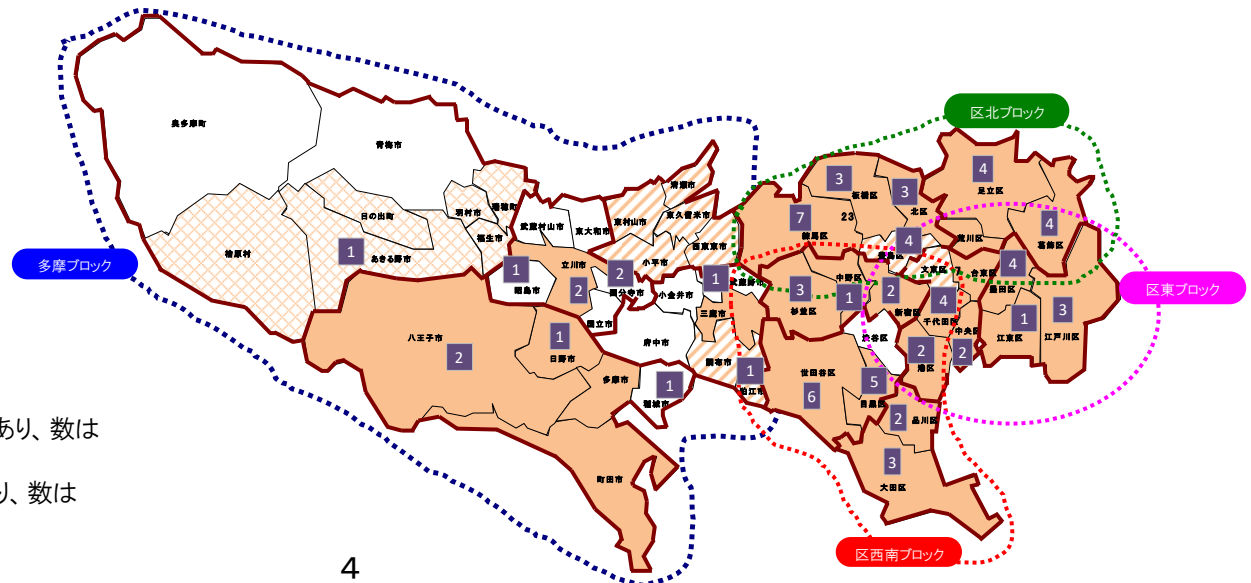
<多摩部>



□病院型 ■診療所型 ▨未実施

□病院型 ■診療所型 ▨未実施

【初期救急実施状況・区市町村実施以外で平日20時以降週2回以上診療している診療所(診療時間20時までを含む)】(ひまわりより)



- ・都内全域では75施設
- ・区部は、多くの区で20時以降診療している診療所があり、数は様々である。
- ・多摩部は、9市で20時以降診療している診療所があり、数は1市当たり1~2か所である。